

## 数学 B（理系数学）

- 1 積分で定められた数列の極限を求める問題である。関数の増減や積分の基本事項の理解に加え、指数関数や対数関数の極限に関する計算力が要求されている。
- 2 複素数および確率に関する問題である。(1)では複素数平面の理解、(2)、(3)では数列に関する基本事項の応用力も要求されている。
- 3 与えられた条件を満たす領域を図示し、その領域を回転して得られる立体の体積を求める問題である。実数解条件を的確に用いる能力、回転体を正確に把握する能力、積分の値を求める計算力が要求されている。
- 4 所定の規則で定義された分数の樹形図に関する問題である。(1)、(2)、(3)は論述問題であり、整数の性質に関する基礎的な知識と論証力が要求されている。(4)は特定の分数の現れる位置を正確に求める計算力が要求されている。
- 5 空間図形に関する問題である。数式で表された図形の位置関係や交わりの形状を正確に把握する能力が要求されている。